

1. 2016年度総会を2016年6月に名古屋で開催し、会員の学術交流と世代間の交流をより充実させ、また、フンボルティアーナの国際的な交流の場を設定することを目指す。
2. 支部における会員のネットワークを確立し、大学別連絡責任者の体制を整備し、支部総会の開催など、支部活動を着実に進める体制を構築する。
3. 支部を中心にした、また、会員グループによる3つの交流の促進を図る取組みを助成する。
4. 日本フンボルト協会のホームページの内容の充実を図り、また、ドイツ留学情報検索サイトの情報量を増大させ、若手研究者による利用を促進する。
5. 賛助会員制度の活用を図り、日独の学術交流の基盤を拡大・強化する。
6. 協会財政の確立のために会員の一層の協力をお願いする。

=====

「日本フンボルト協会名誉会員制度の運営についての申し合わせ」
(2015年6月13日理事会)

日本フンボルト協会会則第6条3項に規定する名誉会員制度については、以下の要領で運営することを申し合わせる。

1. 総会に対する「理事会の推薦」は、常務理事会の発議によるものとする。
2. 常務理事会の発議に際しては、当該規定の「日独学術交流に著しい貢献のあった者(外国人を含む)」という基準を厳格に運用するものとする。

参考：日本フンボルト協会会則第6条3項

日独学術交流に著しい貢献のあった者(外国人を含む)は、理事会の推薦により、総会の決議をもって名誉会員とすることができる。